

広報

やさと



トラさんからバトンタッチ!

東筑波ユートピアにおいて毎年恒例の干支の引継ぎ式が行われ、98年の大役を果たしたトラから、ことしの主役であるウサギへと引継ぎ書が渡されました。

さて、99年がスタートしました。ことしは「卯年」。ウサギのように飛躍する一年へと期待がふくらみます。

1999

1

NO. 523

力をあわせて

未来に飛躍する基盤づくり



町長 関野和夫

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで、希望に満ちた平成十一年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、好転の兆しも見えず長期化している経済不況は、税収の大幅な落ち込みなど、国をはじめ地方自治体の財政にも深刻な影響を及ぼしてきております。

厳しい社会情勢を踏まえながら、町は当初の方針に掲げましたとおり、バランスのとれた総合的な町づくりをめざして、必要性・緊急性・効果を考慮しながら、各種事業に取り組んでまいりました。

公共下水道事業、南中学校校舎の改築事業を、計画どおり実施に移すことができたのはじめ、三十五軒という厳しい配分率の転作割当を達成できましたことなど、ひとえに皆様方の温かいご支援、ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

道路整備の面におきましては、地域か

ら要望の多い生活道路は優先しながらも、主要県道や市町村間を接続する道路整備は、将来の発展の基軸となり、各方面に大きな効果をもたらすものと考え、関係市町村との連携のもとに、整備促進に向けた活動を進めてまいりました。

整備が遅れておりました下水道は、二十一世紀前半における町の一大事業と位置づけております。昨年五月都市計画法に基づく公共下水道事業が決定され、本格的工事に着手しました。今後、町全域が完了するまで、二十数年の年月と、莫大な経費を費やして進めなければなりません。生活雑排水による水環境の悪化を防ぎ、快適な生活環境を創出するために欠かせない事業であるという考え方に立ち、町民の皆様のご理解、ご協力を賜りつつ着実に推進を図ってまいります。

不況の中で各産業は低迷し、町内観光施設などの入場者も減少傾向にあります。八郷町にとりまして観光施策は、他産業の活性化を図る上からも益々重要な要素をもつものであると考えております。

温泉の活用策として、現在「ふれあい交流施設」の建設を計画しております。

この施設が、観光の新たな受け皿の機能を果たし、施設を利用した直売等を通して果樹や農産物、加工製品のPRを図

ることによって、産業全体に波及する効果が期待できるものと考えます。

少子・高齢化社会の中で、福祉・教育面や保健・医療などが行政に占めるウェイトは年々高まってゆくと予想されます。介護保険に備えた体制づくりとともに、保健指導による予防、健康づくりも大切になります。さらに、実情を見極めながら、保育施設や教育施設の整備に努める一方、地域と協力して、子供たちが心豊かに育つ環境づくり、子育て支援に努めてまいります。

国・県の財政は一段と厳しさを増しており、補助金・交付金など依存財源の伸びは望めない状況にあります。引き続き緊急性や必要性を考慮して、効率的な財源の配分に努めてまいります。

さらに、皆様のご理解をいただき、行政サービス向上を基本に、行政改革の推進に努めてまいります。当面、新年度を目標に、時代の変化に則した、組織機構の改革を積極的に進める考えております。本年も皆様との語り合いを大切に、着実に歩みを進めてまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、未来に明るい展望が開け、実り多い年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

12月定例議会

温泉はふれあい交流施設に

平成10年度八郷町議会第4回定例会は12月15日招集され、22日まで8日間の日程で開かれました。

提出された案件は、陳情3件、報告1件、議案8件、認定6件、同意2件、意見書1件などでした。

17・18日の2日間一般質問、22日に議案審議、採決が行われ陳情2件を除き、案件はすべて可決採択されました。おもな内容は次のとおりです。

〔補正予算関係〕

10年度一般会計補正予算第3号は、歳入歳出それぞれ2億9、947万6千円を追加し、歳入歳出総額を10億5、651万7千円としました。

歳入は、景気低迷による税収の減を見込み、個人、法人町民税あわせて3、500万円を補正減しました。また、地方交付税は1億85万3千円の補正増でした。

県支出金では農林水産業費補助金が大きく、森林活用型林業構造改善事業の林道開設、間伐対策

ました。

歳出では、農林水産業費における、補助事業の増減に伴う補正のほか、開発費では、温泉スタンド設置の計画をふれあい交流施設の建設に変更し、工事請負費から用地購入代への組み替え、実施設計委託料などを計上しました。

民生費の保育所費は、小幡・小桜保育所の統合に備えた建設敷地の購入、物件補償費や基本設計委託料などを含めて4、289万2千円を増額、また、教育費の保健

体育費では、総合運動公園敷地の購入代1億2、257万2千円を増額補正しました。

ほかに特別会計では、国民健康保険が32万円増額、老人保健1、061万8千円増額、農業集落排水事業671万9千円増額、下水道事業2億7、349万円増額などの補正でした。

〔条例改正〕

条例改正では、八郷町税条例における固定資産税の特例に関しての一部改正、また町職員の給与に関する条例が一部改正されました。給与改定は、人事院勧告に基づき実施された国家公務員の給与改定に準じて行われたものです。

議長に鈴木光雄氏

副議長に伊藤昌次郎氏

議会最終日の二十二日に議長、副議長の改選がおこなわれ、議長に鈴木光雄氏（大増・72歳）、副議

長に伊藤昌次郎氏（山崎・68歳）がそれぞれ再選されました。



事業補助金などが増になり、林業費補助金2、314万6千円の補正増、農業用施設災害復旧費補助金889万3千円増などあわせて3、209万6千円の増額でした。

町債は、地域経済対策事業で行う林道整備事業債が4、270万円、体育施設整備事業債9、070万円、地域総合整備事業債8、180万円が増になるなど、1億9、980万円が補正増になり



鈴木議長



伊藤副議長

教育委員

選任の同意

教育委員の任期満了に伴って選任の同意を提出したもので、鈴木重喜氏（下林・72歳）の再任、新たに櫻井孝氏（小幡・65歳）の選任について議会の同意を求め、満場一致で可決されました。これにより、十二月二十六日付で任命され、その後教育委員の互選によって、教育委員長に鈴木重喜氏、教育長に櫻井孝氏が選ばれました。国が進める教育改革の推進に対応しながら、これから町における教育の向上にお二人の一層のご活躍が期待されます。



櫻井孝氏



鈴木重喜氏

平成9年度 決算報告

着実に進めた

平成9年度の一般会計・特別会計それぞれの決算が12月の議会で認定されました。一般、特別をあわせた当初予算は145億4,968万円でスタート、途中補正を行いながら平成9年度に計画された仕事をすすめてきました。最終的な決算額は、歳入総額が150億2,296万円、歳出総額は143億1,696万円になりました。概要についてお知らせします。

表-3 平成9年度特別会計決算総括表 (単位万円)

会 計 名	歳 入	歳 出
特 別 会 計		
国民健康保険	21億8,706	20億3,835
老人保健	22億75	22億54
フラワーヒル柿岡汚水処理	1,252	1,035
農業集落排水	7,916	7,234
下水道	3億3,858	3億3,670
計	48億1,807	46億5,828

●分担金負担金、繰入金、繰越金その他の内訳 (万円)

分担金負担金 1億7,879

使用料手数料 2億5,398 繰入金 1億3,117

財産収入 2,108 繰越金 6億6,810

寄付金 65 諸収入 2億8,157

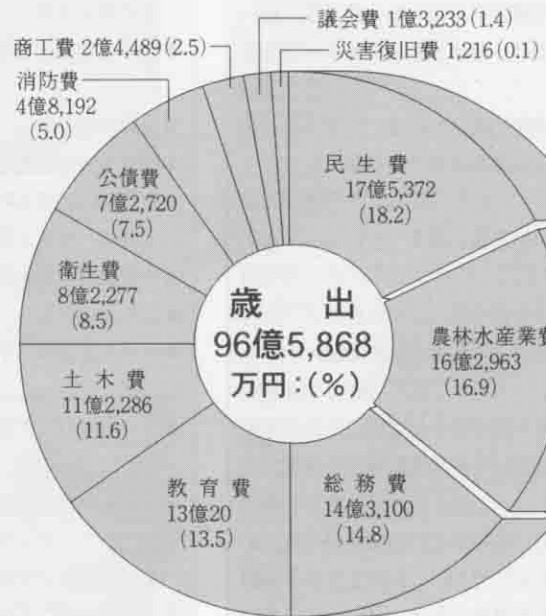
●地方譲与税等の内訳 (万円)

地方譲与税 2億6,008 特別地方消費交付金 68

利子割交付金 2,727 自動車取得税交付金 1億5,153

ゴルフ場利用税交付金 8,816 交通安全対策特別交付金 812

地方消費税交付金 5,056



①本年度は、経常収支比率が若干上昇したが、実質収支比率は適正な水準になっている。今後より一層効率的な予算の執行、健全な財政運営に努められたい。

②町税の徴収率は極めて低い水準となっている。時効中断の措置を適切に行うとともに、徴収方法を検討し、滞納整理に努力されたい。

③国民宿舎「つくばね」、ふれあいの森」の管理委託料が使用料を大幅に上回っており、町の財政に大きな影響を与えているので、早急に改善計画を立てその縮減に

監査委員の意見(要約)

努力されたい。

④国保・老保会計は、医療を取り巻く環境を的確に把握し、収支の均衡に留意されたい。

⑤国保税の徴収率が低下しているため、向上に努められたい。

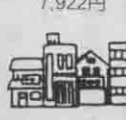
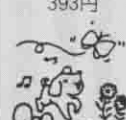
⑥フラワーヒル柿岡汚水処理、農業集落排水事業会計は、健全な管理運営に引き続き努められたい。

⑦下水道事業特別会計においては、安全管理を徹底し事業の円滑な推進を図られたい。

⑧補助金は、時代の要請に合わないものや所期の目的が達成したと見受けられるものがあるので、縮減について検討されたい。

町民1人に使われたお金は、312,000円でした。

一般会計目的
別に平成10年
3月31日の人
口30,913人で
計算

民生費 56,731円  福祉の向上に	農林水産業費 52,717円  老林業の振興に	総務費 46,291円  一般事務に
教育費 42,060円  生涯学習や 学校教育に	土木費 36,323円  道路や排水の 整備に	衛生費 26,161円  健康づくりや 環境整備に
公債費 23,524円  借入金の 支払いに	消防費 15,590円  消防や防災に	商工費 7,922円  商工業や 観光開発に
議会費 4,281円  町議会の運営に	その他 393円  災害復旧などに	

すすめたおもな事業

快適に暮らせる 環境づくり

- 下水道事業 (根小屋・金指・片野)
管渠埋設等 2億6,802万円
- 合併浄化槽設置事業 5人槽7基、6～7人槽26基、8～10人槽26基 計59基 3,563万円
- 湖北環境衛生組合負担金 7,418万円
- 新治地方広域事務組合負担金 2億1,290万円
- 消防ポンプ車購入事業 消防ポンプ車1台購入 2,616万円
- 消防施設整備事業 小型自動ポンプ2台、コミュニティ消防センター2棟 2,574万円
- 防火水槽設置事業 3基 1,187万円
- コミュニティ防災資機材等整備事業 844万円
- 新治地方広域事務組合消防負担金 3億1,343万円
- 緊急防災基盤整備事業 2,572万円
- 交通安全施設整備事業 カーブミラー90基、ガードレール130m、スクールゾーン6か所 525万円



豊かで活力に満 ちたまちづくり

- いばらきの米産地事業 133万円
- 畜産再編総合対策事業 環境保全型畜産確立対策事業 5,034万円
- 県単農道整備事業 農道改良舗装4路線 4,900万円
- 地籍調査事業 8,128万円
- 県営ふるさと農道緊急整備事業 八郷・石岡地区に係る町負担金(用地買収・立木補償、改良工事) 3,332万円
- 条件整備特別対策事業 955万円
- 転作助成事業 5,242万円
- 明日の農業担い手育成事業 3,167万円
- フラワーパーク管理運営事業 1億5,988万円
- 花き振興対策事業 1,560万円
- 園芸パワーアップ整備事業 青果物のビニールハウス設置補助 1,000万円
- 茨城のうまい果物産地販売総合推進対策事業 756万円
- 森林活用環境施設整備事業 オートキャンプ場整備工事等 8,518万円
- 林道開設・改良事業 開設L=381m 改良L=80m 4,991万円
- 商工振興事業 780万円
- 国民宿舎管理運営事業 9,126万円
- ふれあいの森管理運営事業 3,137万円
- 温泉開発事業 温泉権・温泉用地購入 9,000万円

基盤を整え魅力 あるまちづくり



- 道路維持補修事業 6,712万円
- 生活関連市町村道緊急整備事業 (山崎・下林) (根小屋) 1億7,153万円
- 片野下青柳線道路整備事業 測量調査設計・用地取得 8,545万円
- 交通安全施設等整備事業 上曾～鯨岡 延長326m 5,223万円
- 町道幹線単独道路整備事業 (真家地内) 延長145m 3,947万円
- 一般町道整備事業 総延長2,581m (17路線) 2億2,523万円
- 町道舗装新設事業 総延長2,083m (9路線) 9,287万円
- 排水整備事業 総延長1,802m (13路線) 6,299万円
- 資材支給舗装事業 総延長3,625m (41区) 1,552万円
- 都市計画推進事業 3,089万円

「おもな事業の概要

道路維持補修事業 安全確保のための部分補修と主要道路の除草・除雪工事、碎石・側溝ふたの支給

交通安全施設等整備事業 大型農道に自転歩行者道設置

いばらきの米産地事業 良質米産地の定着化と精米用機械設備等の補助(事業主体は八郷農協)

地籍調査事業 川又地区(三・六km²)、半田地区(四km²)、須釜・片野地区(二・五km²)、柴内・弓弦地区(三・八五km²)

条件整備特別対策事業 転作のための条件整備に対する補助金の交付(ハウス、保冷库、脱粒機、コンバイン、管理機等)

明日の農業担い手育成事業 キュウリ、梨、花き、イチゴ組合 商工振興事業 商工会、柿岡城まつりへの補助

下水道事業(特定環境保全公共下水道) 管渠工事八路線L=一、八七七m、設計委託、備品購入等

コミュニティ防災資機材等整備事業 非常災害時に備え、非常用食品、資機材等を役場、恋瀬小、東成井小の三か所に備蓄

緊急防災基盤整備事業 避難場所に指定されている小学校に防災資機材等を収納する防災倉庫



9年度に

人々が生き生きと 学ぶまちづくり

- 教育振興対策事業 2,371万円
- 小学校学校管理事業 施設営繕及び校具備品の購入 5,317万円
- 小学校教材備品購入事業 2,015万円
- 中学校学校管理事業 施設営繕及び校具備品の購入 3,705万円
- 中学校教育備品購入事業 1,295万円
- 南中学校校舎改築事業 用地取得・立木等補償調査 149万円
- 青少年教育推進事業 238万円
- 生涯学習推進事業 427万円
- 社会教育活動総合事業 254万円
- 文化財保護顕彰事業 文化財保護審議会・指定文化財説明版設置 720万円
- 八郷町芸術祭開催事業 100万円
- こどもフェスティバル開催事業 150万円
- 中央公民館改修事業 外壁改修工事 3,852万円
- 地区公民館施設整備事業 小松地区公民館駐車場舗装工事 498万円
- スポーツ教室・大会事業 547万円
- 多目的広場改修事業 2,392万円
- テニスコート改修事業 6,959万円
- 芝生広場照明整備事業 6,399万円
- 学校給食施設管理事業 1億9,088万円
- 給食配送委託事業 1,386万円

健やかに暮らせる まちづくり

- 老人保健事業 健康診査・各種検診延 13,347人、健康教育199回 3,501人
健康相談136回 5,426人、機能訓練 49回 360人 4,322万円
- 健康づくり推進事業 235万円
- 母子保健事業 877万円
- 予防接種事業 1,888万円
- 保健活動事業 保健婦の訪問による保健衛生指導 200万円
- 国保特別会計繰出金 1億1,100万円
- 国保基盤安定繰出金 2,619万円

ふれあい語りあい 交流するまちづくり

- 「広報やさ」と「広報やさとお知らせ版」
広報縮刷版発行事業 1,094万円
- 対話教室・モニター等公聴事業 51万円
- ゆう都・八郷まちづくり計画策定事業 525万円
- ふれあい交流事業 800万円
- 庁舎周辺等整備事業 駐車場舗装、フェンス設置、案内標識設置工事など 2,088万円

やさしさと温りの あるまちづくり



- 社会福祉協議会事務委託事業 家庭奉仕員派遣事業、移動入浴、福祉団体の事務局等事務委託 4,681万円
- 敬老会助成事業 4,325人対象の敬老会に補助、80歳以上の1,376人に敬老祝金と記念品贈呈 1,760万円
- 老人保護措置事業 64名の老人が老人ホームに入所 1億9,340万円
- デイサービスセンター・介護支援センター運営委託事業 4,033万円
- 地域ケアシステム推進事業 500万円
- 福祉バス整備事業 2,414万円
- 老人保健施設整備促進事業 ふるさと融資による貸付等 1億5,340万円
- 身体障害者援護事業 17名が施設入所、機能回復訓練、生活指導を行う 6,356万円
- 保育所運営事業 8保育所において571名の児童を保育 5億3,624万円

を建設（恋瀬小・東成井小）
小・中学校学校管理事業 小型
焼却炉の使用を控え、ダイオキ
シン発生を抑制するためにゴミ
保管庫、シュレッダーを各校に
設置
地域ケアシステム推進事業 お
年寄りや障害者（児）等が家庭
や地域で安心して暮らせるよう
に、保健・医療・福祉が一体と
なって支援

はじめて ケーキ作りに挑戦したよ



▲初めてのケーキ作りにみんな真剣です

八郷町の明日を担う子どもたちに、郷土愛を深め、互いに協力し合う心を育てるために、町では毎年「ふるさと少年教室」を開催しております。

町内の小学5年生と6年生を対象としてこれまで、つくばエキスポセンターを見学し、科学とインターネットを体験したり、ニュースポーツを楽しんだり、パンデリースを作ってきたりしました。

また、12月12日には、中央公民館において、料理教室と町長との懇談会が行われましたのでご紹介します。

料理教室は町食生活推進員の皆さんの指導により、クリスマスケーキ作りに挑戦しました。

参加した子どもたちはあわ立て機で生クリームを作ったり、オーブンで焼いているスポンジを心配そうにのぞいたりしていました。

調理することおよそ三時間。とてもおいしそうなケーキが出来上がり、みんなはとてもうれしそうでした。このあとの町長との懇談会は、ケーキの味を楽しみながら、なごやかに行われました。その中での子どもたちの町長に対する質問と回答の一部を、要約してご紹介します。

Q 町長はふだんどんな仕事をしているのですか。

A 町では皆さんから納めていただいた税金などを使って、町の皆さんからの要望を聞きながら仕事をしています。その仕事を議員さんたちと話し合ったり、町の書類に目を通して判を押したりしています。また、いろいろな団体の会合に出席したり、休日なども行事のある時は出席します。

Q 温泉はつくりますか。

A つくりません。温泉の場所は小幡の細内で、現在、温泉施設関係の土地の交渉をしているところで、平成十一年には施設をつくり、十二年に完成する予定です。

Q 図書館を建てる予定はありますか。

A 今のところ建てる予定はありません。将来は建てるけれどもないと思っていますが、それにはお金がかかります。現在町では、図書館を建てる前に道路など整備しなければならぬところがたくさんあるからです。

Q どうして町長になったのですか。

A 町民の皆さんの力をお借りして、町を立て直したいと思ったからです。これからも皆さんからのいろいろな意見、要望を聞きながら、より良い町づくりをめざして行きたいと思っています。



町長との懇談会

Q 八郷町にはなぜ公園がないのですか。

A 公園は遊ぶ場所のない市街地に住む子どもたちや自然を保護するためにつくられます。八郷町は家のまわりに遊ぶ場所があるので、つくる必要がないのです。将来、家がたくさん建ち、遊ぶ場所が確保できなくなるような場合には考えなくてはなりません。

Q これからの八郷町をどのような町にしたいですか。

A 現在建設中の北関東自動車道や計画の中曽峠のトンネルが完成すると、今まで山で囲まれた八郷町も交通の便が良くなります。今までの観光をさらに重要視していきたいながら、自然の残る豊かな町をめざしていきたいです。そして住んでいる人にはもちろん、そのほか多くの人にも八郷町のよさを知ってもらえたらと思います。

人権尊重社会を実現するために

人権同和問題研修会開かれる

十二月十四日、世界人権宣言五十周年の行事の一環として、人権同和問題研修会が開かれました。

研修会は、人権擁護委員、民生委員、教育関係者などおよそ八十名ほどが参加、人権教育映画の上映、筑波大学教授福田弘氏による「たかが意識、されど意識」と題する講演などがありました。

21世紀は人権尊重の時代

一九四八年十二月十日、世界人権宣言が国連総会において採択されました。それから半世紀、日本

は敗戦からの経済復興と民主主義社会の形成につとめ、めざましい発展を遂げました。

現在、日本は平和で豊かな国として、世界をリードする位置にあります。しかし、民主国家としてさまざまな権利が保障された平等な社会といえるのでしょうか。

筑波大学教授福田弘氏による講演

同和問題をはじめ性差別、教育の場におけるいじめの問題など、人が生きていく上で保障されるべき基本的人権が侵害されたり、差別されたりする実態がいまだに存在しています。

人権の問題は、学校、職場、家庭、地域社会など様々な場面で差別の実態について認識をもち、今世紀における差別問題を、

来世紀まで持ち越すことなく意識改革に努め、二十一世紀には、日本の社会が真に人間の尊厳を認めあえる、人権尊重社会が実現されるよう、一人ひとりが取り組みを続けていかなければならない問題といえるでしょう。

吉田廣司さん 人権擁護委員に



吉田 廣司さん

昨年九月の議会定例会において、人権擁護委員の任期満了に伴い、議会の同意を得て推薦されていた吉田廣司さん（柿岡）が、十二月一日付けで法務大臣から委嘱されました。

吉田さんには、今後とも人権に関わる相談をはじめ、人権擁護活動において活躍いただきます。

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

園芸教室

花壇の年間計画と実行 ～明るい家庭づくりのために～



◆家庭生活と庭・花壇

家庭は生産現場から離れた生活の場であると思う。そこには程度の差こそあれ、家族が同居する「家」と、それを取りまく「庭」がある。庭に植木や草花を植え、緑を主体とした色鮮やかな色彩を楽しみ、澄んだ空気の提供を受け、また、庭づくりの中で、家庭の協力や共通話題が得られる場ができる。これが「家庭」ではないのか？と。

このころ「ガーデニング」という言葉を耳にする。庭づくりを意味するようだ。家庭の発想を一族の庭に表現し、ゆとりある生活の一助にしてはどうか。今が花壇の年間計画を立てる良い時期である。

◎単調さをさける

組み合わせる草花を、平面的にならないよう、草丈の高低を利用する。小面積の場合は空間を生かすため、棚やスタンド式つり鉢や、レンガブロックなどを積み、開花面を二段から三段の立体化にする。

◎植え床の準備

日当たりや排水の良い所を選び、植す前には必ず一㎡当たり堆肥二kg、石灰二百g、化成肥料五十gを施す。

◆花壇づくりのポイント

◎植え込み材料の特性を生かす
一・二年草、球根、宿根草など

（園芸課 矢口）

八郷町・中世城館址

大增城（八幡平城）

はらまんだい

○所在地 大增字大沼一〇〇四

大增集落の下宿から宿場を西に真直ぐ行き、上宿のはずれの小川に架かる小屋橋と書かれたコンクリートの小さな橋を渡って、南側の崖に作られた急勾配のつづら折れの小道を駆け登った高台の端が八幡平城の入口跡と言われているところ。小さな畑があり地元では鞍置場と呼んでいる。

大增宿の下宿端から台地に登る崖端に付けられた馬場（ばば）という城への道を馬の背に荷物を乗せて運んできて、城の入口のここでも降ろした場所なので荷鞍置場と言われている。ここからは段々畑の斜面を登った山頂の山林の平らな四十haほどが八幡平城の本丸跡という。本丸跡の南西角に一段高く石垣で築いた所に小さな石の祠が松の林に囲まれてひっそりと安置されている。この祠が城の氏神で八幡様と呼ばれることから八幡平城と地元では呼んでいる。

戦国時代頃までの城の築き方は山城・平山城が多く、戦乱が起きた時に城にこもって守る形の、守り安く攻め難い城が多い。八幡平

城は芦穂地区小山田集落の猿壁城と同じ典型的な山城である。

城の構造は、加波山から東に延びた尾根が馬の背のように狭い先端に、山塊となった山頂に築いた城である。三方が高さ四十米ほどの崖状の急斜面で、東側は大增集落から馬場道を通って城に登る道がある。城内は本丸と家臣団館や武器・食料蔵があったと思われる。三・四haほどの場所、本丸との間には壕堀という掘揚げた土で土手を築いた、堀と土塁が今も残っている。本丸南側の崖下は大沼という地名の湿地帯があり、その湿地に掘った古井戸が数年前まであったというが今は藪の中に埋没して、水汲みに使用した細い坂道だけが藪の中に残っている。

この城の領主は、古尾谷氏であると言われているが、城を築いた人物についてはわかっていない。八郷町誌や新編常陸国誌などでは、古尾谷隠岐守治貞が領主時代の大永二年（一五二二）顕徳院を祈願

所とした・永祿二年（二五五九）には正法寺を開いたなどと記載されている。他の古尾谷氏一族についての文献・古文書が残っていないので、古尾谷治貞が築いた城と考えられている。

この八幡平城の山城は戦乱が起きた時に戦った城なので、普段は集落の中に屋敷を作って住んでいたと考えられる。大增集落の東側には古館という地名があり、細い道路や水路でほぼ四角に囲まれている。古館周辺の地名には屋敷や館に係る地名の戸城・辻前・折戸などがあることから、古館が屋敷であったのであろう。



馬場道から見た八幡平城

●最近気になる病気

「PTSD」について

豊後荘病院精神科 慎 光秀医師



Posttraumatic Stress Disorder（略してPTSD。postは「後」、traumaは「外傷」だが特に精神科領域では「精神的な傷」という意味であるから、日本語では「心的外傷後ストレス障害」となる。一言でPTSDを説明せよというなら、自分が何とかやりこませる範囲を超えてしまった強烈なショックを受けたときに起こってくる精神状態に関する障害名である、とも言おうか。

トラウマを与える出来事としては、戦争、難民や捕虜の体験、強姦、強盗、誘拐などの犯罪被害、家庭内暴力、身体的虐待、性的虐待、外科手術、災害、家族や親しい人の死を目撃したり経験することなどが上げられる。では実際にPTSDではどんな症状があらわれるのか。ショックがあった直後には、感覚の麻痺（痛みや寒さや空腹を感じない）、感情の麻痺（悲しいとか腹が立つということがない）、記憶の障害（出来事が思い出せない）、現実感の喪失（幕で隔てられているよう）などがおきてくる。ところが珍しくなく、以上に述べたほとんどがPTSDによく見られるものである。診断マニュアルでは、これらの症状のうちのいくつかがそろい、その症状の持続が一月以上だとPTSDと診断することになっている。

PTSDは発展途上の分野であり理論も実践もまだ粗削りで、穴だらけである。けれどもトラウマという観点から人の心を捉え直す作業は魅力的である。どんな人も大なり小なり心の傷を受けずに育つことはない。PTSDの考え方は、もっと普遍的な人間の発達を考えるのに役立つかもしれない。ここでは治療のことを紹介できなかったが悲痛な体験をした人たちの話を聞くことは、治療者自身の心をまた深く揺さぶるのである。さまざまな問題について治療者は自分自身とも向き合っていかなければならない。決して楽ではないがトラウマカウンセリングは興味のない仕事であると思う。

わたしの手料理

豚肉とキャベツの
みそ炒め



食生活改善推進員 吉田 二三江（部原）

【材料】（4人分）

- ★キャベツ 400 g
- ★豚バラ肉（うす切り）200 g
- ★しょうゆ 小さじ1
- ★ニンニク 1かけ
- ★トウバンジャン 小さじ1
- ★サラダ油 大さじ2
- ★ゴマ油 小さじ1

合わせ調味料

赤だしみそ 30 g
酒・砂糖 大さじ1
しょうゆ 小さじ1

【作り方】

- ①キャベツは4.5cmに切る。
- ②豚肉は2.3cmに切り、酒としょうゆをまぶして下味をつける。
- ③合わせ調味料を作る。
- ④鍋をよく熱してサラダ油を入れ、うす切りにしたニンニクを入れて香りが出るまで炒め、豚肉とトウバンジャンを加えて炒める。
- ⑤豚肉が白っぽくになったら、キャベツを加えて炒める。
- ⑥⑤に③を合わせ、調味料を加える。
- ⑦手早く炒め、ゴマ油を入れてできあがり。

わが家CITY

真家

安田尚平ちゃん

父 政美さん 母 貴世さん
平成10年2月13日生まれ

♥家族からの一言

9か月目にして自分の力で立てるようにになりました。最近では食べたいものを指でさします。とても食欲旺盛なんです。動物が好きで、近所の犬や猫を見ると喜んではしゃぎます。わんぱくでもいからたくましい男の子になってね。



八郷の地名

⑩

須賀（すか・小見地区）

（上）



「須賀」周辺地形図

平安時代前期の承平年間（九三二―九三三）に源順により編纂されたと伝えられる『和名抄』に、常陸国茨城郡十八郷の一つに小見郷（江戸期の小見・太田・中戸・小埜・瓦谷・柴間・部原・宇治会・野田・佐久・片岡等の十一か村を充てる）という郷名が見える。この地には小見郷を統括した郷長と役所が置かれたことが知られ、すでに平安から鎌倉期に溯ってまとまっていたのかの単位集落が構成されており、小見の東方に位置して谷津を挟んで「旭台」地内の平坦な台地上には奈良・平安期に営まれたと推定される「旭台遺跡」が確認されている。小見地区の中心街から大増方面に向かって「須賀」を冠する十二（須賀・須賀池下・須賀池畑・須賀池山・須賀下り・須賀下・須賀タミ田・須賀タタミ田・須賀山・須賀山ノ神・須賀山下・須賀山之神）の公称

字名が区域を限り集中して見える。須賀はまた須可・須加・修家とも標記されるが、古い例も記録に散見する。たとえば『和名抄』に伊勢国志都郡須可郷、下総国匝瑳郡須加郷、参河国幡豆郡修家郷などがそれぞれあり、現に三重県一志郡嬉野町大字須賀は伊勢国須可郷に比定される。スカ、スガの地名語源の由来については、小規模な海岸砂丘や河岸砂丘などからの起因説があるが、その根拠は「州処」に求められている。本県の場合、北浦に面する鹿嶋市須賀あるいは西浦（霞ヶ浦）に沿う桜川村須賀津などの立地環境ならば肯定もされようが、小見に所在する須賀の地理的環境からは、この説にはいささか矛盾が多く賛同しかねる。他方、このような土地には「すがすがしいところ」であり神聖な場所とする説がある。地名の起源について

検証するとき、一部の例外を除き困難な論理を展開しなければならぬ場合が比較的多い。「スカ」についても、その語源なり原義が重要な意味を有することを否定できないが、私は後者の説に歴史的付会を求めたい。神聖な場所とする論拠は、日本の建国神話に華々しく登場する須佐之男命に関わる神話・伝説にある故事のほか、命を主神として祀る須賀神社の縁起にも注目すべき内容が含まれている。須賀神社は全国各地に鎮座するが、とりわけ島根県と高知県に多い。本県では県央から県南に七社ほど祀られている。うち二社は地名に由来するが、内原町鯉淵に鎮座する須賀神社の社伝には創建年次不詳としながらも、出雲国鯉川郡日御碕神社（式内社）より建速素盞鳴大神の分霊を移祀したとある（以下次回）



P.N ゆきの



月岡 萩原 志づ



P.N DORI Æ DO



私も

ひとこと

(仲間を集めて子どもと遊んでいます)

中

中央公民館の一室を週一回おかりして、一、二、三歳児とその保育者を集めて、音楽リトミックや絵本の読み聞かせなどの楽しい遊びのサークル活動をしています。小さな子どもがいると、なかなか一緒に活動できる講座がないので、自主的に仲間を集めてやっています。お友達もたくさんできて子どもたちも楽しそうです。十一月号の三十九歳の主婦さんも何か自分たちで計画してみたいかですか。

柿岡 小原 初美

(寒いときはやっぱお鍋！)

こんなことテレビ番組で紹介していました。気温が十四度以下に

習字コーナー

評 (助)独立書人団審査会員翠崑書院 関 翠邱

柿岡小五年 塚田清隆

林小六年 萩原明子

五年 有名 塚田清隆

ゆつたりと大らかな気分で書いてあります。やわらかみもあり、なかなかよくできました。

六年 愛 萩原明子

筆捌きがよく、鋒先をよくまとめている。しかも楽しそうに書いています。

過

日、近所の方が救急車を頼むために二一九番に電話をしても駄目だったと話していました。

「火災・救急は二一九番」

と知らされているのですし、四三六四九二番であることを知らない人も多いと思います。だれでも分かるようにお願いします。

❖ 二一九番回線は、各地区一回線となっています。

❖ テーブルを開んでわいわい鍋パーティー、いいですね。身も心もあたたまりますよね。野菜や魚など好きな物を入れて食べる寄せ鍋は簡単、しかもヘルシー。お鍋の最後には、うどんやご飯を入れますね。皆さん、お鍋で寒さを吹き飛ばしましょう。

(二一九番がつかない)

広報係

八郷消防署

全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 130

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①平成9年度一般会計の歳入総額
はいくらでしたか？

- (A) 99億5,868万円
- (B) 96億5,868万円
- (C) 102億489万円

②目的別に使われた額は一人当
たりで合計するといくらでしたか？

- (A) 31万2千円 (B) 35万2千円
- (C) 40万2千円

③12月12日に行われたふるさと
少年教室の料理教室では何を作った
のでしょうか？

- (A) ギョーザ (B) ケーキ (C) パン

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ130と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図
書券をプレゼントします。

☆締切日 平成11年2月22日

☆応募先 315-0195 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙3月号

【広報クイズ128の当選者の発表】

正解は1-A、2-C、3-Cでした。
応募総数28通、正解28通の中から
次の10人が当選しました。

雨貝二美子(川又) 飯村幸一(山
崎) 市村美幸(小見) 氏家 寛(下
林) 上林充代(柴内) 木口ヨシ子
(東成井) 富田静(下青柳) 菱沼
由佳(東成井) 谷仲里美(太田)
渡辺喜久子(山崎) [敬称略]



P.N マロンちゃん



下林 氏家 寛



P.N 藤崎かおる

●やさと文芸

あけましておめでとうございます。今月は、選者の皆さんの
作品をご紹介します。
来月からまた、皆さんの作品を掲載しますので、ふるって
ご応募ください。お待ちしております。

甲斐と駿河を股いで座る富士のお山の大跌坐
宇宙旅行の望みも夢も遠くなきそな新時代
風化させまい日本だけが受けた憎みのきのこ雲

俚 謡 鈴木弦月

自適ともゆかぬ日々年明くる
門を出て一步に仰ぐ初筑波
呼び声に応へし鴉鉄始

俳 句 綿引鼓峰

かたじけな^と齡を重ねるまた一つ卒寿を越えて三つ数ふる
生くるには已に耐^たふる外なしと吹きなぶらるる冬木を見据^う
残生は計りかぬれどお迎えに見える日まで静かに待たむ

短 歌 吉田次郎



子どもたちが外で元気よく遊ん
でいる様子です。これは何をして
いるのでしょうか。
(昭和三十四年当時)



「まち」の「話題」で「き」ごと

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線一三四三)

みて、じょうずにできたでしょ

親子凧づくり講座が十二月二十日に中央公民館において行われました。

当日は四組の親子十一名が参加し、三本骨の凧づくりに挑戦しました。

凧の形に切った凧紙に子どもたちはそれぞれお気に入りの絵を書き、色を染めました。絵の具が乾くと、お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら、ヒノキ棒と竹ヒゴで骨組みを作り、凧糸をつけて立派な凧を完成させました。

さあ、いよいよ外に出て凧あげです。最初は凧を揚げるのにも苦労していたようでしたが、糸目を変えたり、しっぽを

長くしたりしていくうちに、次第にうまく揚がるようになり、子どもたちはひとしきり凧揚げを楽しんでいました。

今では、お正月に凧を揚げて遊んでいる親子の姿があまり見られなくなり、凧を作る職人もほとんど少なくなっているといえます。

講師の岡崎旭さんは「昔ながらの遊びである凧づくりを通して、子どもたちに手づくりのよさを学んでもらい、心にゆとりの持てる子どもになってもらいたい」と語ってくださいました。



スキーって楽しいね

毎年恒例の町主催の少年スキー教室が一月四日から六日まで、福島県のあだたら高原スキー場で行われました。

同教室には、小学四年生から六年生七十二名が参加。九班にクラス分けし、八郷町スキークラブの講師の指導を受けていました。

初めはおそろのおそろ滑っていた子ども

たちも、何度も転んだりしながら、次第に上手に滑れるようになり、かなりの上達をみせました。冬休みの貴重な体験となったことでしょう。

積雪不足で、一時は開催が心配されていましたが、前日の雪で積雪量は増え、無事行うことができました。子どもたちにとっては恵みの雪になったようです。



ときめき

ティータイム

大瀬久江(下林・20歳)さん

去年は十代最後の記念として柿岡城まつりの大名行列のお姫様をやりました。将来は、心身のケアのできる優しい看護婦さんになりたいです。



ふるさと美術展 町では三人が入賞

第十二回茨城県ふるさと美術展が十二月十一日から十五日まで県民文化センターで開催され、町では次の三人が入賞しました。

〔日本画〕 潮田俊子さん

茨城県農協五連会長賞

〔書〕 渡辺国友さん

茨城県知事賞

荻部静江さん

茨城県農業共済組合連合会会長賞



消防団は災害が起きたとき、私たちの生命を守る最も頼りになる組織です。町では消防ポンプ自動車一台と、小型動力消防ポンプ付積載車二台を購入し、このほど各分団への伝達式が八郷消防署において行われました。

さらなる消防力強化にむけて

これにより、第一分団第三部に消防ポンプ自動車一台、第六分団第一部と第二分団第三部にはそれぞれ小型動力消防ポンプ付積載車が一台ずつ配置され、より消防力が強化されました。これらの消防設備は万全を期して、いざ火災というときに備えます。



年末の安全運転呼びかける

年末の交通事故を防止するために、十二月九日、下宿交差点において街頭キャンペーンが行われました。町、石岡警察署、交通安全協会、女性ドライバー友の会の皆さんがパンフレットなどを配りながら、シートベルトの着用や、安全運転

を呼びかけました。年末に限らず、何かと慌ただしい朝や時間に追われているときなどは、運転に支障が出て、大きな事故につながりかねません。運転には日頃からの心がけが大切です。



大塚の飛田さんに遺族追賞

八郷町大塚故飛田忠さんの遺族、飛田光さんが、このほど遺族追賞を受賞しました。

故飛田忠さんは、昭和二十二年第六回国勢調査員に任命されて以来、平成七年第十六回国勢調査までの十回の調査に調査員として従事してきました。また、国の統計調査の農林水産省所管の農（林）業センサスや、県独自の調査の茨城県農業基本調査などにも意欲的に取り組み、

円滑で正確な調査を行い、常に他の調査員の模範でした。そのほかにも数々の功績を残しており、住民の皆さんからの信頼も厚かったようです。

このような功績が認められ、亡くなった後に贈られる遺族追賞がご家族に贈られたわけですね。

受賞した飛田光さんは「このような立派な賞を頂き、本当にありがたいと思っております」と喜びを語ってくれました。

県国民年金協議会長から表彰

籠田納税貯蓄組合がこのほど、国民年金事業優良団体として表彰されました。国民年金事業推進の功労が認められたものです。



広報担当になってあつという間に九か月が過ぎました。ふり返ると取材では、たくさんの方々と出会いがあり、いままでの生活では味わえないような経験もさせてもらいました。そのような中の失敗も多々。反省点も多いと思いますが、この頃ですが、皆さんと一緒にこの広報紙をめざしてこれからもたくさん学んでいこうと思います。

さて、今月号から田上静子さんの「郷土の歴史を彩る人々」に代わって、関肇さんの「八郷町・中世城館址」が始まりました。八郷町社会教育指導員を務めている関さんは中世の城館跡から当時の城の構造などを探っていきます。皆さんどうぞご期待ください。（且）

ことしはほくの年よろしくね



豊かな自然を取り戻すために

霞ヶ浦は、社会経済の発展に伴い富栄養化が進み、水質悪化が問題となっています。このため、町では県とともにあらゆる面で浄化のための取り組みを実施しています。農業者の皆さんも農業面からの霞ヶ浦浄化が一層推進されるよう積極的な努力をお願いします。



町の水田から流れ落ちる水は、恋瀬川や園部川を通して霞ヶ浦に注いでいます。町では浄化効果の高い施肥田植機を使っての田植えを進めています。写真は施肥田植機。

霞ヶ浦は昔から人々の生活と産業を支え、多くの生物を育んできた貴重な財産です。しかし近年、めざましい社会経済の発展に伴い、自然の浄化作用が破壊され、水質が急速に悪化してきています。

特に富栄養化の進行は、さまざまな環境上の障害をもたらし、このままでは霞ヶ浦の自然は破壊されてしまいます。

八郷町は、この霞ヶ浦に注ぐ恋瀬川と園部川の上流にあたり、あらゆる方面からの水質浄化に取り組む、より一層の浄化対策を推進していかなければなりません。一方、町の水田から流れ落ちる水は、この両河川を通り、霞ヶ浦に注いでいます。そこで農業面からの浄化対策を取り上げました。水質浄化のために皆さんの積極的な努力をお願いします。

(一) 水田・レンコン田の管理

① 土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

② 施肥は、肥料成分の流出にくい側条施肥等の局所施肥や全層施肥等にする。

③ 肥料は、容出抑制効果の高い被覆肥料等緩効性肥料を使用する。

④ 代かきのためのかん水はできるだけ少なくし、施肥直後は落水しない等の適切な水管理を行う。

⑤ 畦畔の保全を図り、水の使い過ぎを防止する。

(二) 畑・樹園地の管理

① 土壌分析診断を行い、適切な施肥及び土壌管理を行う。

② 良質な堆きゅう肥の土壌改良資材を用い、深耕、イネ化作物との輪作を中心とした健康な土作りを行う。

負荷軽減機械整備

促進事業

また、浄化効果の高い側条施肥田植機の導入を進めるため、次の特別助成事業を実施します。



朝日地区維持管理の清掃作業

河川の保全管理も大切です

- ① 助成対象 営農集団
- ② 助成対象田植機 乗用であつて五条以上の施肥田植機及びハロー施肥田植機（「代かき・田植え・施肥を一台で行う機械」）
- ③ 助成金額 本体の中に占める施肥部分取付費の五〇％以内
- ④ 五条施肥田植機 十五万円
- ⑤ 六条以上施肥田植機 十八万円
- ⑥ ハロー施肥田植機三十万円以内
- ⑦ その他 条施肥機、節水型レンコン堀取機も対象、改良資金近代化資金等との併用も可。転作達成者で構成する営農集団に限り該当します。
- 詳しくは、役場農政課（内線一二四五）までお問い合わせください。